

(様式3)

【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市町村立三隅小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	春・夏・秋見つけ	井野まちづくりセンター・野山嶽 自然観察員
ねらい		地域の自然に親しみ、興味をもって進んで春や夏、秋の自然探しをする。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>1年生は毎年6月と11月の2回井野地区に出かけ、井野まちづくりセンターと自然観察員の方の案内で「春・夏見つけ」「秋見つけ」を行っている。6月は野山嶽まで行き、11月は棚田の周りや山からまちづくりセンターまでの道のりを歩きながら虫や草花の実などを見つけた。持ち帰ったものを使って生活や図工で作品作りを行った。</p> <p>また、自然観察員の方に野山嶽の由来や植物や虫の名前と特徴を教えてもらったり、秋には葉っぱを使った擦り出しを教えてもらったりして、学校の周りとは違う豊かな自然の中で十分活動を楽しむことができた。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>今年は、例年の活動に加え、児童も地域の活動に参加し少しでも貢献したいという思いから、6月に野山嶽のひまわり畑に地域の方と一緒に種をまく活動を組み入れた。山頂の広い畑に一人が一畝ずつ種を蒔き、8月に満開になることを楽しみにした。地域の方に種の蒔き方を教えてもらったり、去年のひまわり畑の見事な写真を見せてもらったりしながら、井野地区の良さを感じることができた。保護者の方にも「野山嶽のひまわり畑」を知ってもらおうと、写真を掲示したり、センター作成の案内図を配付したりした。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>学校の周りでは十分に見つけられない虫や草花、木の実を実際に手に取ってみることができること、その場で自然観察員の方に詳しく説明を聞くことができることで、児童は目を輝かせて興味関心を示した。図鑑や画像で調べるのではなく、体を動かし五感を使って感じる活動にした。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b> <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>井野地区から通う児童は少なく、井野を知らない児童が多い中、自然豊かな井野を知ることができたことが一番良かった。2回の活動だけでなく人とたくさん関わった体験が「楽しかった」「また井野に行きたい」という思いにつながった。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>全員が全ての活動に意欲的に取り組み、昆虫や植物の知識は確実に増えた。また、地域の方と進んで関わり質問する姿や、友達と協力して活動する姿が多く見られた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>ひまわり畑の種まきを地域の方と一緒にできたことはとても良い体験だった。児童数の減少が見られる井野地区だが、野山嶽や大麻山、棚田など教育資源が豊富な地域であることから、今後もその教育資源と地域の人材パワーを活用して、子ども達ができる活動を考えていきたい。</p>			



\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)